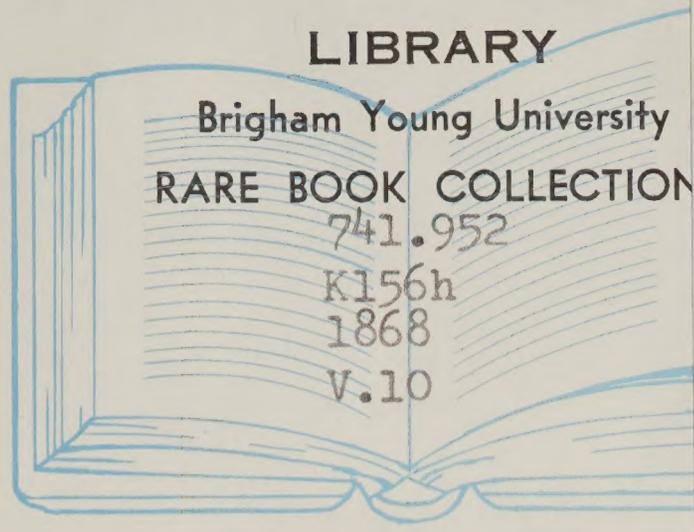


傳神北齋漫畫十編

全

10



尾張東壁堂藏版畫譜畫手本目錄

齋漫畫

富嶽百景

文鳳鹿畫

齋臨畫

一筆畫譜

蕙齋鹿畫

齋畫譜

金氏畫譜

神事行燈

齋畫圖

英泉畫譜

狂畫苑

齋畫鑑

英勇畫譜

浮世畫手本

齋庭訓

浮世畫譜

福善齋畫譜

齋女今川

琉琳漫畫

武勇魁圖繪

書肆

名古屋本町通七丁目

永樂屋東四郎

楊百翰
大學子
書館藏

仁のまじさきあはくしてよあは川のわきふあは
さうくと多うりされと園茶蹴鞠あはすく
れる上手は抱するをえくもあはめくいと
木もよかあく人きくもみ門のうく
くゆるくあうにかきた繪をも堪さるあ
をうとてよくする人のうく山も物をあまは
おを讀まするおも殿舎調度くちか
あははそれきしりあは志もあまにあらり

てを 杉初しくくつるある 紙絵のうけし
しそハ 忠のふくさるるやま 杜齋傍画
十編よりく 梓小島りて 妻ふり たる。 杉乃 志
これを見て 時をのふいと 白鹿ふあ 満ちり少
何しを 世上乃 君子と たら 物ふあ ぬく 堪
きふむ 一から 小那 ゆえ

文政二年十月 梅欄基老人

漫
畫
十
編



孫悟空



いと
なつき
の
姫
般
姫



信列
防湖
永渡







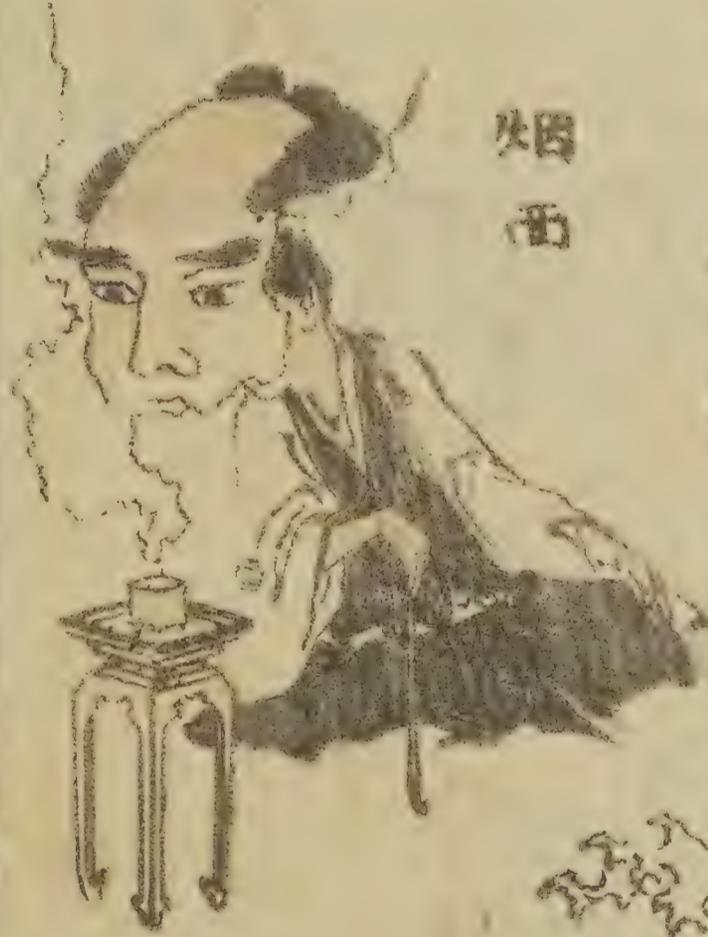
柿香正
貴僧正
加茂川の
水代
逆小流



天
地
の
一
角



吹馬



烟面



香刀



掌中浪

袖中仙



隱形



壺中仙



蜂吹



埋形



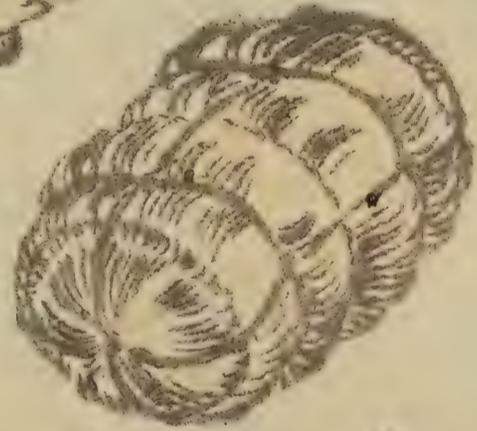
六夫



長頭



魔鬼王



天狗松明



牛舌



浦島



梵雷



自然火

無相ノ瀆



強果

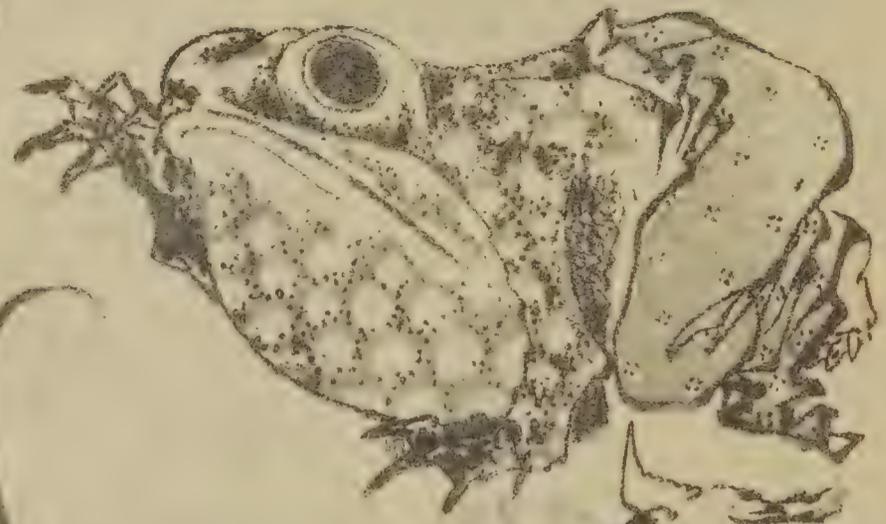


手鑑

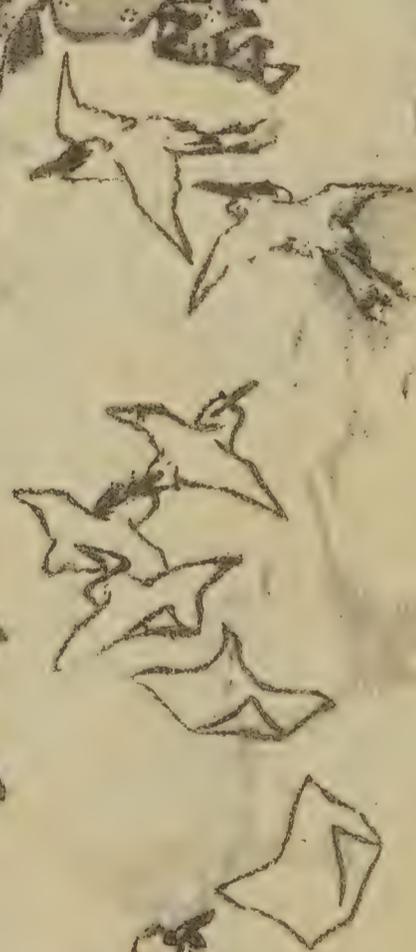
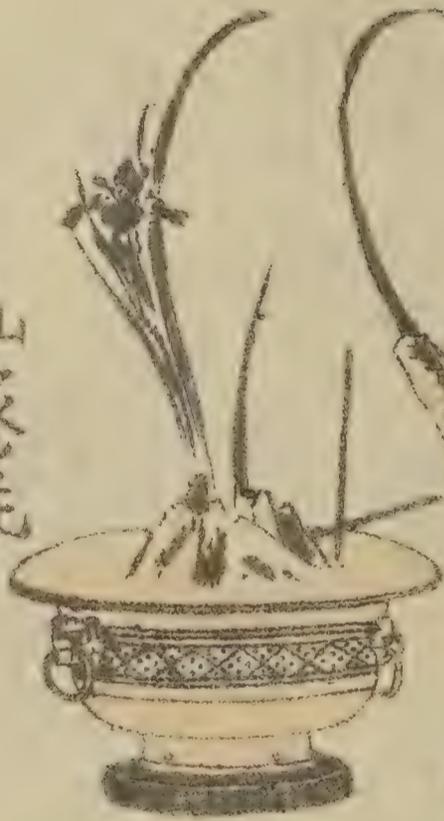


秤

暮蝦



仙家花



辟鷲

二卷目録一名一

柿の枕借

上_二植

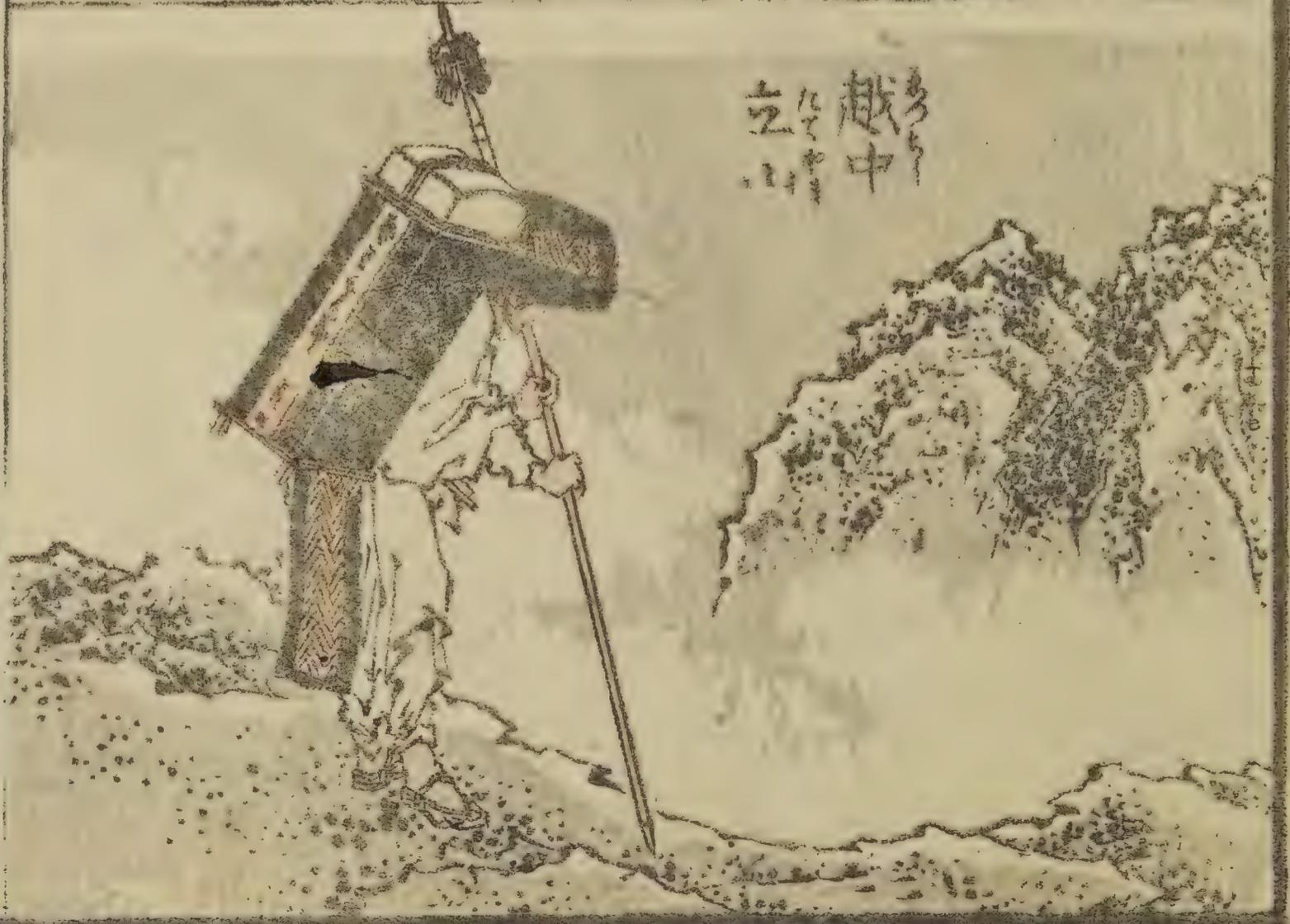
半_二芥田衣

越後入_二方_一比
奇_二心



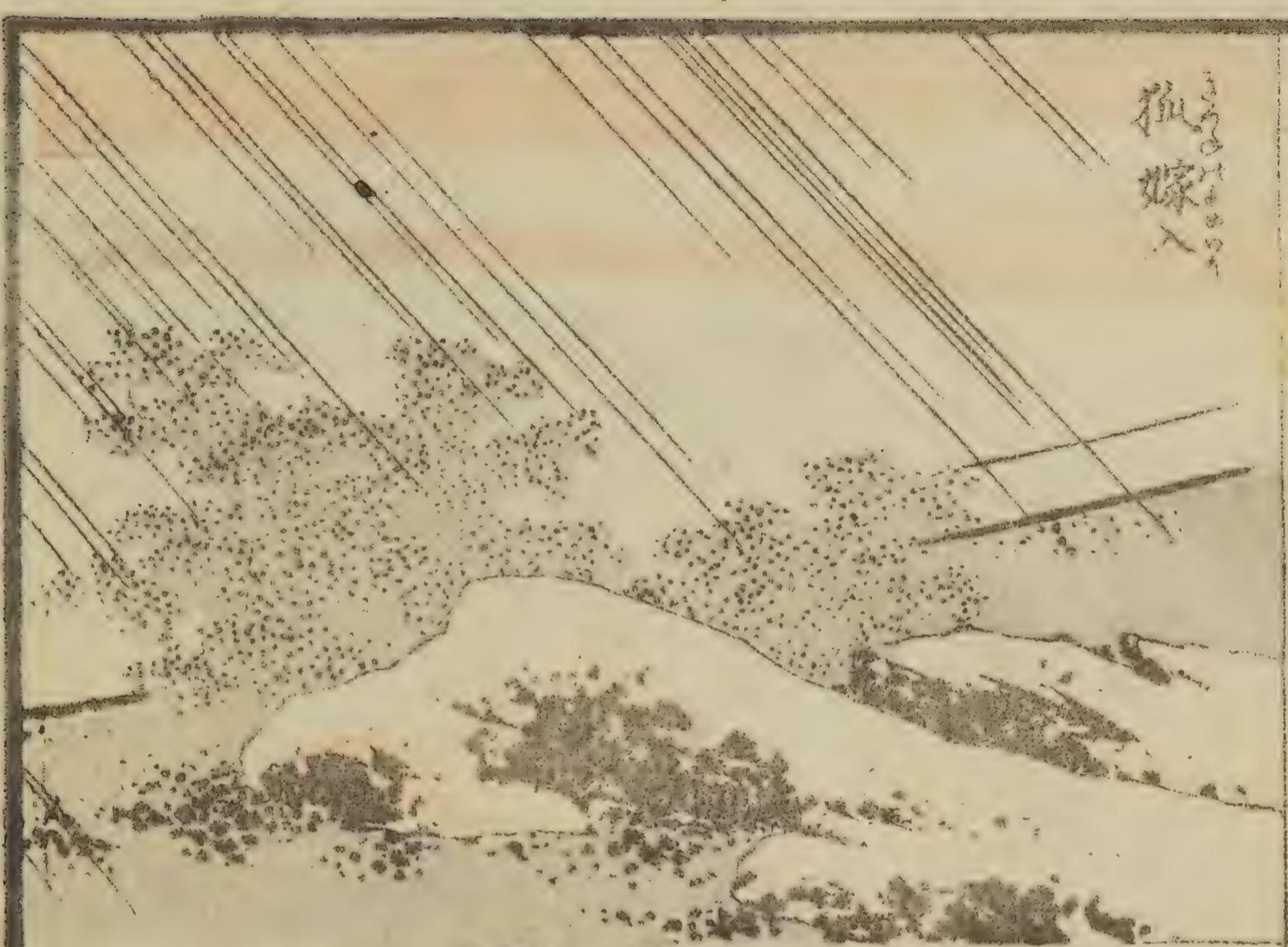


狐火



越中
立

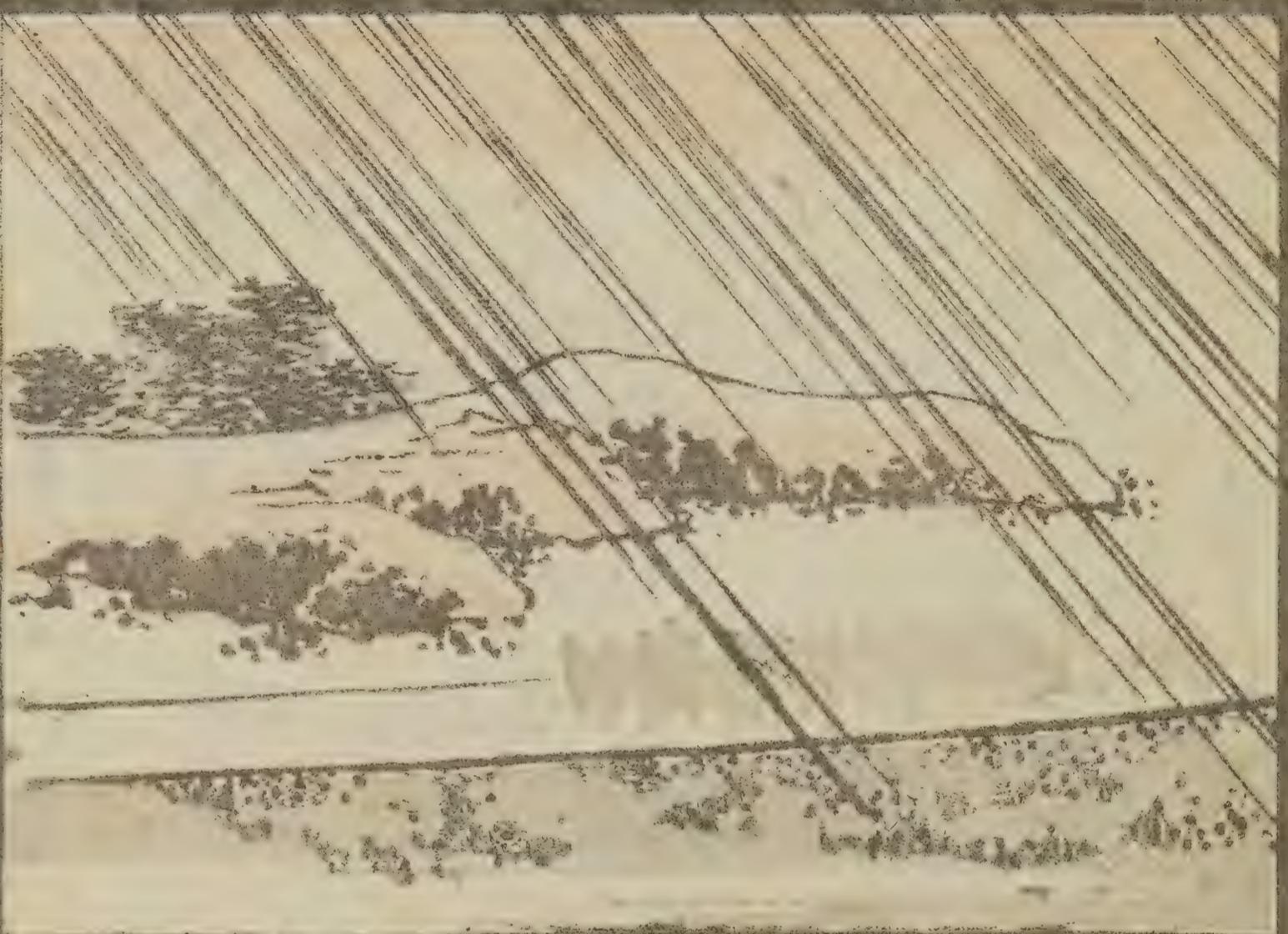
孤嫁入



武藏坊

辨慶



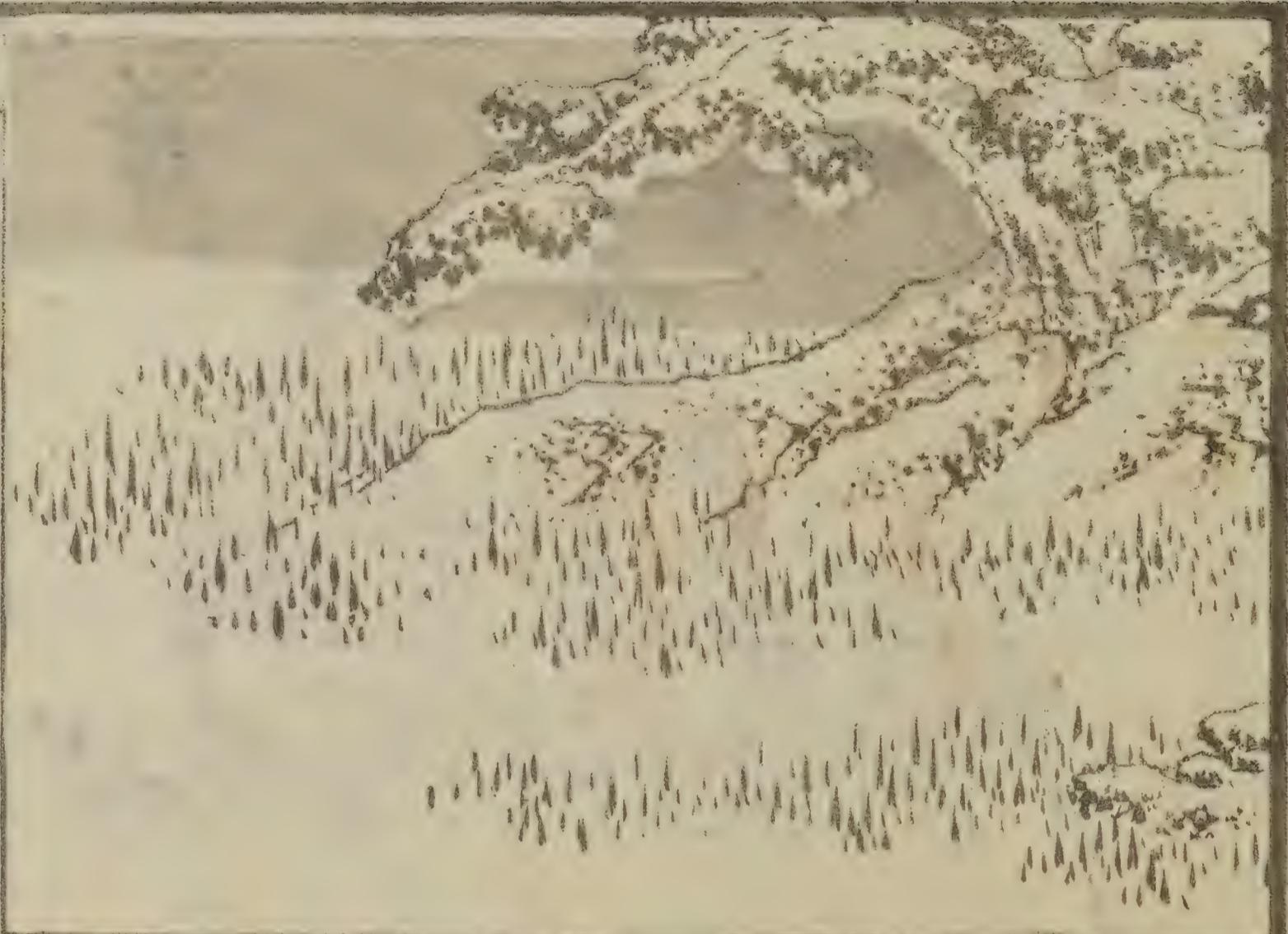


花和尚
 魯知深



日蓮上人
佐渡島
流刑





禪師

役やくのの小角せうかく
前ぜん鬼おに
後ご鬼おに



月蓮為母
冥途一通



小野篁
冥途一通

能因のりん

小町のり
小町

其角そのかく



入雲龍 皇孫勝



黑旋風 李起



後寬
 僧都

小野道風



二
家
書
卷
上
冊

四

千利久



太田

道灌



庵木坊



松永自徳



嵐雪



養時の
母公



加賀
千代女



清玄法師

隆藏



大正...

十五



九ノ巻

宗鑑



紫野

保禪師

河内國
遠が火



遠が火
天狗川
河内國

三つ月七之
菊女

三つ月七之



累代
怨流

祐天和尙



七

雪舟唐土
富土



雪舟切ら
画に妙者



時頼入道
佐野小梅

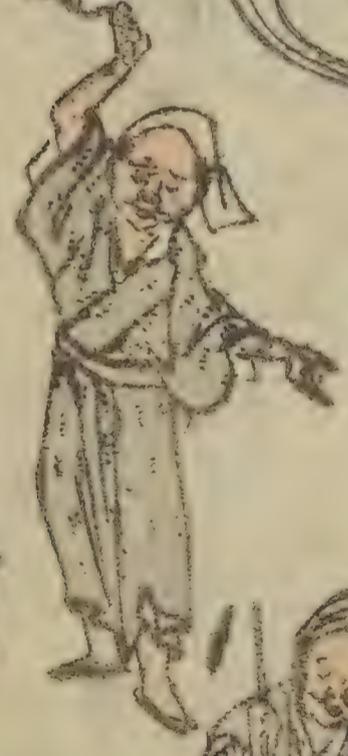


夢に浮橋



力持

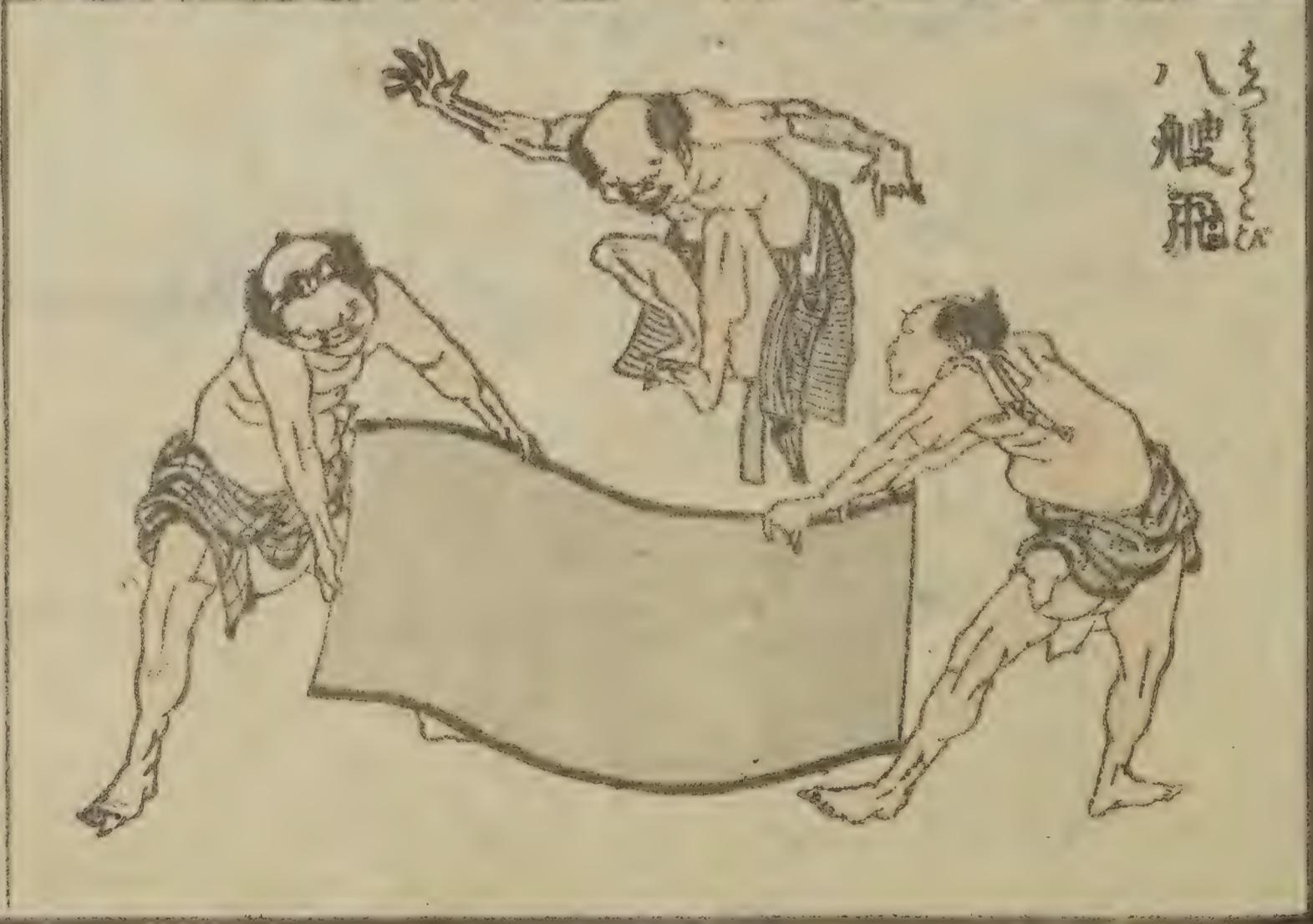
手割師



猿引



八艘飛



八艘飛

七



大江
酒吞
童子



大江酒吞童子

雪中
往來





手
英



孫
聖

苗
龍



萬由



東方朔



徹子



愚童



東方朔

愚童

明崇儼



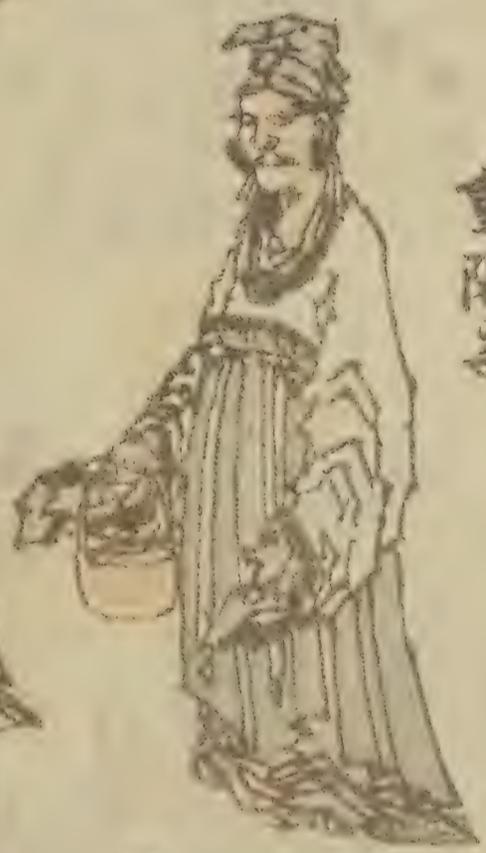
老子



彭祖



重陽子



謝仲初



盧敖



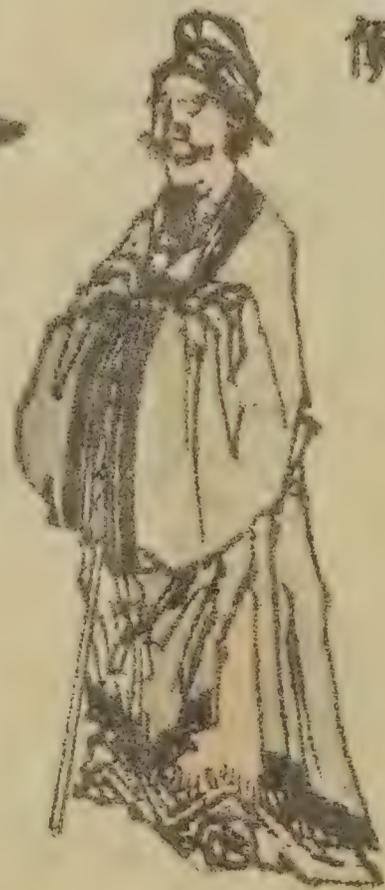
羅子房



鄭思遠

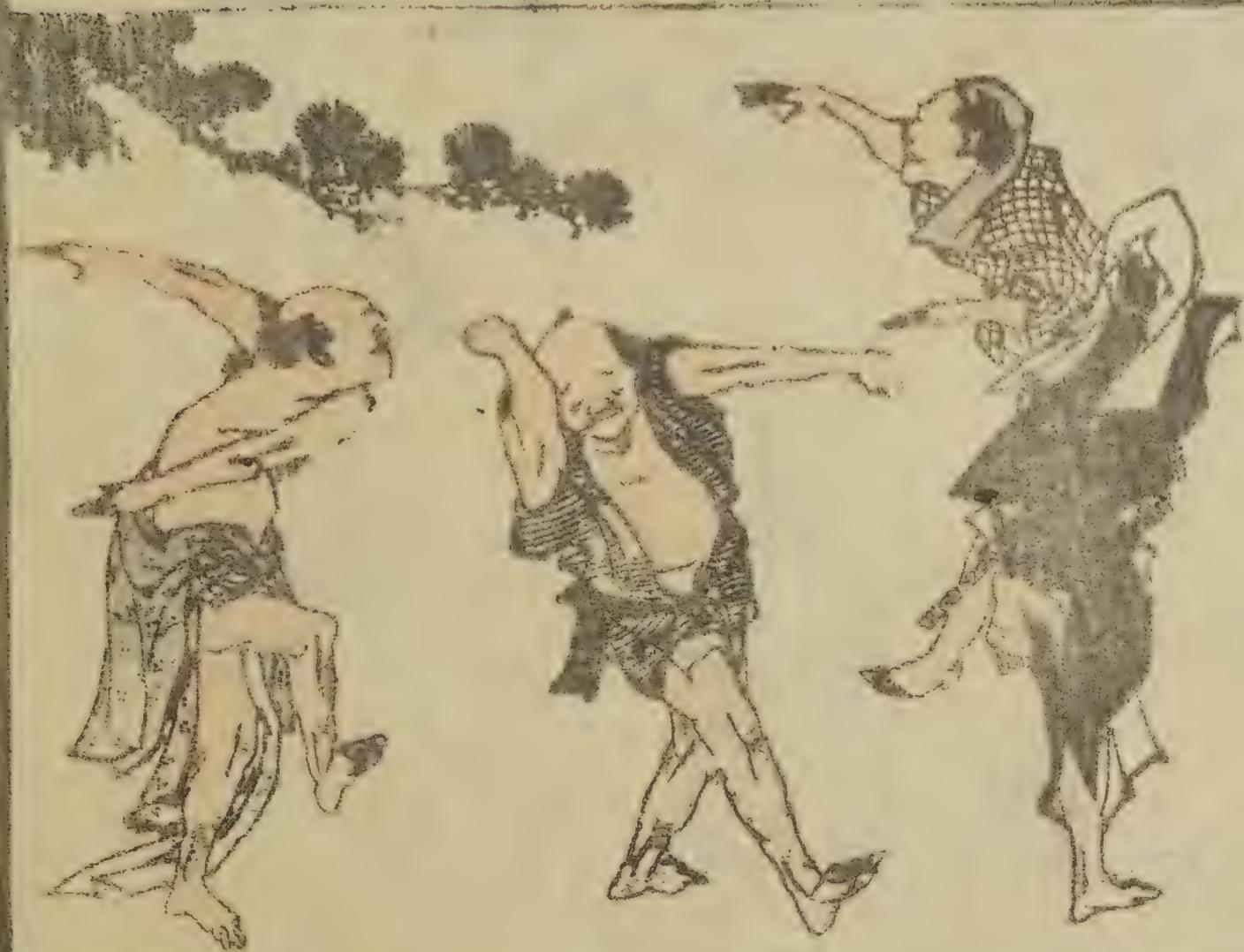


王儼



馮長







夏黃公



商瞿先生



阮籍

向秀



庄周

綺里李



東園公



康



山濤

阮咸

劉伶

竹林七賢圖

卷一



香真師



烟草
たむこ
曲香
まがりの



釣柿
つりかき



曲喰
まがりの



大無食
おほむぎ



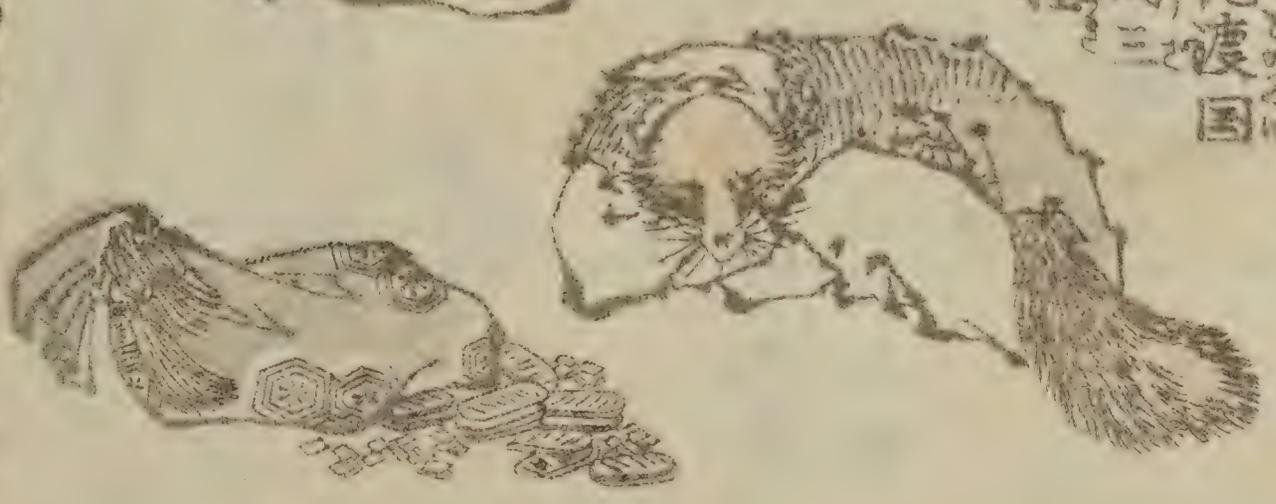
伊勢の
神職
守武



坊月狂子



貳朱利
吉兵衛



狸同先渡国

飛彈ひだん

米道こめみち

水みづ震ふる



會かい呂りよ刺し

衛ゑい兵へい半はん立たて



志し道みち新あらた





家火連野





山 媛 書 通 案 文

全部一冊

世にも紙索之れ書教部ありやとて母其文音何らむハ近き
 ありやハ捷徑にきて文意の堅くは半賤不おもゆれ文を
 かりとて後亦以下との長文といふ類少く次志をす
 清弁の多人世に在るの繁文を省き文意の是らば益を補
 察有急務をすとして通俗の便利とれば勝れ不なり世書に
 是能をかむ程ふ里を満ふといふも亦に面談をなれども
 解くし書も通案文といふて日用の至寶となすべし

尾陽書肆

東 肆 堂 欽 白

